

エル
システマ
フェスティバル
2018

東京芸術劇場

El Sistema
Festival 2018

エル・システマの仲間が集う、年に一度の祭典

エル・システマ ガラコンサート



12 | 1 (土) 15:00開演 (14:00ロビー開場) 東京芸術劇場コンサートホール

指揮：エンルイス・モンテス・オリバー
相馬子どもオーケストラ、大槌子どもオーケストラ、駒ヶ根子どもオーケストラ
東京ホワイトハンドコーラス (指導・指揮：コロネリか、井崎哲也、土野研治、ピアノ：栗津礼子)
ララ・ソモス (ヴォーカル・アンサンブル)



開かれた音楽教育で成長し世界とつながる子どもたち!

第1部

指揮：エンルイス・モンテス・オリバー

●相馬子どもオーケストラ、大槌子どもオーケストラ、駒ヶ根子どもオーケストラ

♪モーツァルト／セレナード第13番 ト長調 K.525 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

♪ヴィヴァルディ／ヴァイオリン協奏曲集「四季」作品8から 第1番 ホ長調「春」、第4番 へ短調「冬」

第2部

●東京ホワイトハンドコーラス

♪ふるさとの空 (作曲：出田敬三、作詞：上田幸彦)

♪エーデルワイス (作曲：リチャード・ロジャース、訳詞：阪田寛夫)

●ララ・ソモス

♪イバナマの娘

♪ベネズエラ ほか

全席指定 (税込) 2,000円

高校生以下 (税込) 1,000円

※高校生以下チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い。ご購入の方は、当日証明書を受付にご提示ください (枚数限定)。

お問合せ&チケット取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296

(休館日を除く10:00~19:00)

<http://www.geigeki.jp/>



※障害をお持ちの方は割引料金にてご鑑賞いただけます。詳細は東京芸術劇場ボックスオフィスまでお問合せください (要事前予約)。

※本コンサートは、聴覚に障害をお持ちの方の鑑賞の手助けとして、字幕を設置し歌詞を表示いたします。また創立80周年を迎えるハイオニア株式会社さまの協力により、聴覚障害の方も一緒にコンサートを楽しめるよう、音を振動に変えるボディソニック (体感音響システム) を1階席最後列に設置しています。

主催：駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館、東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、一般社団法人エル・システマジャパン

協賛：アサヒグループホールディングス株式会社、キッコーマン株式会社、ダウ・ケミカル日本株式会社、トヨタ自動車株式会社、Water Dragon Foundation

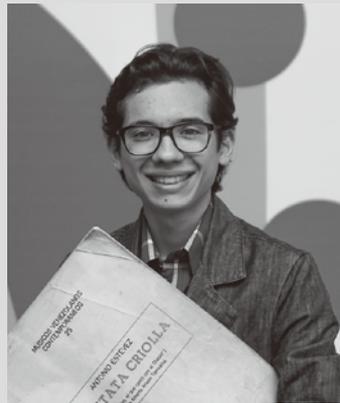
協力：トット基金 日本ろう者劇団、オザワ・アート・プランニング合同会社、パイオニア株式会社

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



★エル・システムとは★

1975年、南米ベネズエラでホセ・アントニオ・アブレウ博士によって設立された組織で、子どもたちがオーケストラやコーラスに参加することで、音楽を学び、集団としての協調性、社会性を育み、コミュニティとの関わりをつくることを目的としています。エル・システムは、世界的に活躍する若手指揮者グスターボ・ドゥダメル氏など多くの一流音楽家を輩出しているだけでなく、子どもたちを犯罪や暴力から守り、学業面も含めてポジティブな影響を与えてきたことで、ユネスコや米州開銀等の外部機関からも評価されています。日本では、東日本大震災で被災した子どもたちが音楽での経験を通して自信や尊厳を回復し、自分の人生を切り開いていく力を育むことを当初の目的に、2012年からエル・システムジャパンとして福島県相馬市、岩手県大槌町、そして2017年から長野県駒ヶ根市と東京都でも活動を開始しました。家庭の事情や障害の有無にかかわらず、どんな子どもも音楽に触れられること、皆で奏でるオーケストラやコーラスの形で学んでいくことを大切に、自己表現の場として、そして音楽が人と人をつなぐことを目指しています。東京芸術劇場は、「エル・システム」の理念に共感し、2008年、2013年、2015年、2017年にその活動を紹介するフェスティバルを開催してまいりました。



エンルイス・モンテス・オリバー (指揮) Enluis Montes Olivar, Conductor

1996年ベネズエラ・グアナレ生まれの21歳。8歳から地域のエル・システムでフルートとトランペットを始め、11歳で指揮者デビュー。その後、ホセ・アントニオ・アブレウ、グスターボ・ドゥダメルから次世代の才能と期待され、直接師事しました。2015年には、ベネズエラ北西部マラカイのマラカイオペラハウスにて、モリエール「タルチフ」(レイナルド・イダルゴ総監督のミーチェム版オペラ作品)を指揮。ベネズエラのホワイトハンドコーラスの指揮、指導にも積極的に関わっています。本年4月にカラカスで行われた、故アブレウ博士の追悼記念コンサートにて、エル・システム約1万人の音楽家達を指揮し、喝采を浴びました。本公演は、ベネズエラ国外でのデビューとなります。

相馬子どもオーケストラ

Soma Children's Orchestra

民謡をはじめとする音楽や伝統芸能が息づく、福島県相馬市。エル・システムジャパンとの協力協定が2012年に締結され、市内小学校への支援がスタート。「相馬子どもオーケストラ」の母体となる週末弦楽器教室は2013年に立ち上がり、市内の全小中学生に門戸が開かれました。メンバーのほとんどが弦楽器の初心者にも関わらず、わずか数年で難度の高い交響曲を演奏するまでに成長。2016年3月にはドイツに渡り、ベルリン・フィルとも共演を果たしました。国内外のユースオーケストラとの共演も経験し、本格的に音楽家を目指す子が出てくるなど、勢いをもって進化し続けるオーケストラです。

大槌子どもオーケストラ

Otsuchi Children's Orchestra

豊かな郷土芸能が息づく岩手県上閉伊郡大槌町。東日本大震災では、人口あたりの死者・行方不明者数が最も多いと言われるほどの深刻な被害を受け、未だに仮設住宅での生活を余儀なくされている子どもたちもいます。また、震災以降は人口流出に歯止めがかからず、吹奏楽部をはじめとする学校クラブ活動は縮小傾向にあります。そのような状況において、子どもたちが自由にのびのびとできる環境づくりを目指しています。2018年4月現在、在籍者は未就学児と小学1年から中学2年までの27名で今後どのように発展していくのか楽しみなオーケストラです。

駒ヶ根子どもオーケストラ

Komagane Children's Orchestra

南・中央アルプスの山々が美しい長野県駒ヶ根市。青年海外協力隊の訓練所をもち、世界に開かれたまちづくりを目指すこの地では、エル・システムジャパンとの協力協定が2017年に締結され、赤穂東小学校の児童を対象とした弦楽器教室がスタートしました。同年10月には「子ども音楽祭2017in駒ヶ根」が開催され、弦楽器教室に参加する子どもたちをはじめ、市内で音楽活動をする子どもたち、そしてベネズエラで活躍するアーティストとが共演を果たしました。2018年7月から、弦楽器教室の参加対象者は駒ヶ根市内の全小学校にまで広がり、2021年までの「駒ヶ根子どもオーケストラ」の発足を目指し、日々の練習に励んでいます。

東京ホワイトハンドコーラス

Tokyo White Hands Chorus

ベネズエラでは、聴覚障害や自閉症、発声に困難を抱える子どもたちの参加を重視した、様々な子どもたちがともに活動する合唱隊が23年前に誕生しました。白い手袋をしたパフォーマンス(手歌)を行うことから、広義にホワイトハンドコーラスと呼ばれています。日本でも、徐々に聴覚以外の困難さにも向き合う子どもたちや、共同合唱に心寄せる人たちが誰でも参加できる仕組みを作ることを目指して、2017年6月に結成。ソプラノ歌手のコロネラチが講師とトット基金 日本ろう者劇団の井崎哲也講師の指導を仰ぎ、詩の世界の表現を子どもたちに主体性を置き、試行錯誤を繰り返しながら作っていきます。今年は手歌の「サイン隊」に加え、音楽療法士で声楽家の土野研治講師の指導のもと、新たに盲学校に通う子どもたちを中心に声のコーラス隊「声隊」を結成、本公演で共演します。

ララ・ソモス(ヴォーカル・アンサンブル)

Lara Somos, Vocal Ensemble

ホワイトハンドコーラス同様、「ベネズエラ児童・青少年オーケストラ・合唱システム(エル・システム)」の特別教育プログラムに所属する楽団で、主なメンバーはホワイトハンドコーラスにも所属しています。「Lara Somos」を英語に直すと「We are Lara」。ベネズエラのララ州からスタートした活動です。2005年の結成以来、アンサンブル・ララ・ソモスの団員らは潜在能力を活かし、自らが抱える特別な困難を成功への最上の材料へと変えてきました。団員らは高度な楽器演奏に声を溶け込ませることに成功。革新的なアレンジによってクラシックやラテンアメリカの各種音楽から、ベネズエラの民衆音楽・民謡・伝統音楽までレパートリーを広げてきました。



全席指定(税込) 2,000円

高校生以下(税込) 1,000円

※高校生以下チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い。ご購入の方は、当日証明書を受付にご提示ください(枚数限定)。
※障害をお持ちの方は割引料金にてご鑑賞いただけます。詳細は東京芸術劇場ボックスオフィスまでお問合せください(要事前予約)。

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

<http://www.geigeki.jp/>

■チケットぴあ 0570-02-9999 音声自動対応 Pコード: 127-192
<http://pia.jp/t/geigeki/>

■イープラス <http://eplus.jp/>

■ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応10:00~20:00)
0570-084-003 音声自動対応 Lコード:33173
<http://l-tike.com/>

■東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(10:00~18:00)
窓口(10:00~19:00)

※未就学児の入場はお断りいたします。
※やむを得ぬ理由により出演者等変更の可能性がございますのでご了承ください。
※公演中止の場合を除き、チケットの払い戻しは致しません。

鑑賞サポートについて

「エル・システム・フェスティバル2018 ガラコンサート」では、舞台上に歌詞などが字幕で表示されます。また、客席の一部にヒアリンググループが作動し、更にパイオニア株式会社さまのご協力により、ボディソニックが約10席に設置されます。

①ヒアリンググループ

磁気コイル付補聴器や人工内耳を使用されているお客様に、舞台上の音声を効果的に伝えるための聴覚支援システムです。メールでのお申込みにより、ヒアリンググループが利用可能なお席を手配します。
※WEBやプレイガイドでご購入されたお席では、ご利用いただけない場合がございます。
詳細:東京芸術劇場HP
<http://www.geigeki.jp/fukushi/hearingloop.html>



②ボディソニック

振動装置が組み込まれたボーチとザブトクッションで振動を身体に伝え、全身で音楽を楽しむことのできる体感音響システムです。メールでのお申込みにより、ボディソニックが利用可能なお席を手配します(先着順)。
※設置数の制約から、ご利用は聴覚障害のある方に限らせていただきます。
※設置座席の手配のため、必ずチケットのご購入前にメールにてお申込みください。
詳細:東京芸術劇場HP
<http://www.geigeki.jp/fukushi/c177.html>



【お問合せ】

東京芸術劇場ボックスオフィス
TEL. 0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)

東京芸術劇場 託児施設のご案内 / 事前予約制・有料

当劇場で鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます。

利用料金(1公演あたり): 0歳~1歳 2,560円(税込)
※開演30分前から 2歳~6歳児(就学前) 2,160円(税込)
※開演30分後まで

HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた
電話: 0120-415-306 (平日9:00~17:00)

※ご予約の際「東京芸術劇場の託児予約の件」とお問い合わせください。
※予約締切日は、土・日・祝祭日を除く公演日一週間前。

東京芸術劇場

